

H19. 4/25(水)

道化師 病院で芸披露

名古屋のNPO 入院の子ら笑顔
 法人・大棟さん

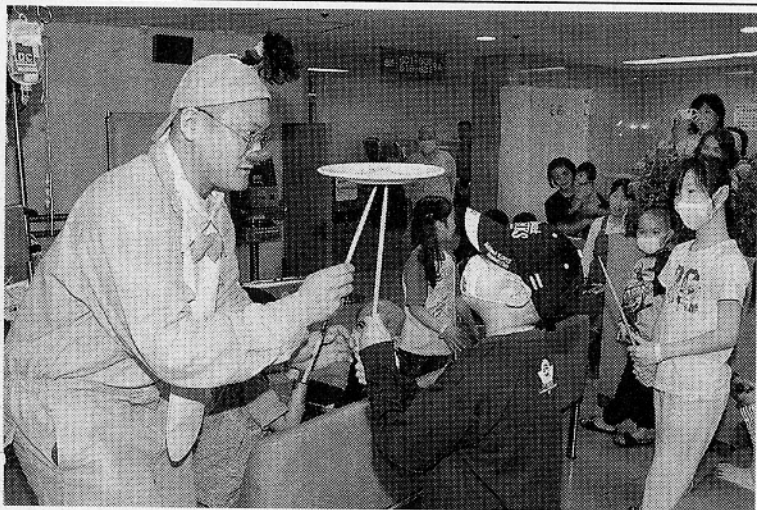
入院中の子どもを笑いで元気づけようと道化師の姿で全国の病院を慰問する活動をしているNPO法人「日本ホスピタル・クラウン協会」(名古屋市の大棟耕介さん(三宅)が二十四日、鹿児島市の鹿児島市立病院と鹿児島大学病院の小児科病棟を訪問した。おどけた様子で皿回しなど披露、病棟は和やかな笑いに包まれた。

牛衛瑠海君(うしゑい)と、娘が同級生だった主婦内田聡子さん(三宅)同市宇宿町Ⅱが、ニュース番組で大棟さんを知り、今年一月末に「小児病棟の子どもを励ましてほしい」とメールで依頼。偶然同じことを計画していた同市のNPO法人「子ども医療ネットワーク」とも連携し、訪問が実現した。同大へは、同日午後訪問。赤い鼻に金色の靴、オレンジ色の服で着飾っ

た道化師がフロアに登場になると、待ちかまえた子どもたちは、目を輝かせて拍手。保護者も一緒に

なつてにぎやかな歓声が起こった。牛衛君は大棟さんから風船をもらい笑顔。母親

の恵子さん(三宅)同市紫原三丁目Ⅱは「びっくりしたけど、感激した」。大棟さんは「子どもたちには病気を忘れて楽しんでもらえたらうれしい。地元の病院は、地元のだ化師が回れるよう、いつか鹿児島でも養成講座を開きたい」と話した。



楽しい芸で子どもたちを笑わせる道化師の大棟耕介さん
 Ⅱ24日、鹿児島市の鹿児島大学病院